

<sup>ガマン</sup>我慢という言葉は、一般に辛抱するといったよい意味でもちいられている。「じっと我慢」などは、立派な美德であり、教訓としてよく耳にする。

ところが本来の仏教語としては、悪い意味をもつ。自分の中心に「我が」があって、それによりごう慢になり、心がおごること。つまり、自分のことばかり考えて、自分自身に執着することを言う。

仏教では七慢といって七つの「慢」があり、我慢は第四番目にあたる。七慢には、劣った人に対して自分がすぐれていると思ったり、勝っている人には自分と同じと言ったり、悟ってもいないのに悟った顔をしたり、悪い事をしても自分をかばったりすること等が説かれている。(思い当ること、ありますか。)

我が強くて負けぬ気の強い人の意味から、ガンバリがきく人、辛抱する人の意味にかわってきた我慢。我慢は、ほどほどにした方が、いいのですよ。